

### <関係法令等>

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領等

### <各教科の指導の重点>

各教科において、以下の力を育てる。

(国語) 自分の考えや思いを言葉や文章で豊かに表現する力  
 (社会) 社会的な事象の意味を考え表現する力  
 (算数) 見通しをもち、筋道を立てて考え表現する力  
 (理科) 自然の事象に対してすすんで働きかけ、自ら問題を見付け、解決していく力  
 (生活) 対象と自分とのかかわりに関心をもつ力・すすんで活動する力  
 (音楽) 学習したことを生かして、音楽を楽しみながら工夫する力  
 (図画工作) いろいろなものや事象の特性を感じ取り、自分のふさわしい造形表現をしようとする力  
 (家庭) 家庭生活に主体的にかかわり生活をよりよくしようとする力  
 (体育) すすんで仲間とかかわりながら課題をもって楽しく運動する力  
 (外国語) 自分の考えや気持ち等を伝え合うコミュニケーションの基礎となる力

### <外国語活動の指導の重点>

- ・外国の言語や文化への興味関心を高め、それらを尊重する国際感覚を養う。
- ・様々な人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ・音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

### <総合的な学習の時間の指導の重点>

- ・地域の「人、もの、こと」にかかわる探究的な学習過程の中で、他教科等及び経験と関連付けながら課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができるようにする。
- ・地域の「人、もの、こと」から問いを見だし、自ら課題を見付け、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して情報を基に考えたりする力を身に付け、考えたことを、根拠を明らかにして整理・分析し、まとめ・表現する力を身に付けることができるようにする。
- ・地域の「人、もの、こと」について探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい社会の創り手として、地域社会で行動しようとする態度を身に付けることができるようにする。

### <学校教育目標>

人間尊重の精神を基調とし、自己をみがき、人や地域、自然と豊かにかかわり、基礎力、思考力、創造の知恵や実践力を備え、他者と協働して、高い志と意欲をもち、新しい時代を切り拓く資質・能力をもつ児童を育てるため、次の目標を設定する。

#### 【基底目標】

- 誇りと自信をもってよりよい社会の創り手となる子供
- 学びを深める子供 ○思いやりのある子供
- 健康な子供

### 学校経営方針 (学力に関して)

「わかる・できる・つかう・つくりだす」を視点とした探究的な学びを追究し、基礎的・基本的な内容の確実な定着とともに、思考力・判断力・表現力を育成する。

#### (学習指導の目標)

習得した知識・技能を関連・活用させながら、主体的に問題解決に取り組む、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育てる。

#### (学習指導の指針)

児童が積極的に学び、深い理解を促す授業や環境を設定し実践することによって、自ら学び考え、判断し、課題解決・探究する力を育む。

### <思い・願い>

- ・児童の実態や思い・願い
- ・保護者の思い・願い
- ・地域社会の思い・願い
- ・PTA 役員委員会、学校運営協議会からの意見等

### <児童の実態>

- ・自他とともによさを認め、学習課題を自分事として追究する姿が見られる。
- ・地域の人やものに関わる活動を通して、地域のよさを発見、地域への愛着の深まりにつながり、自分ができていることを考え、行動する姿が見られる。

### <道徳教育の指導の重点>

- ・特別の教科 道徳の充実を図り、児童が自己の生き方について考えを深め、豊かな心を育成する教育を推進する。
- ・全教育活動を通して、互いに人格・人権を尊重し合い、思いやりの気持ちをもって道徳的な実践ができるよう、道徳性の育成を図る。
- ・道徳実践の場としては、特別活動の充実を努め、子供の道徳性を内面から高める指導と評価を適切に行う。

### <特別活動の指導の重点>

- ・集団の一員としての役割を自覚させ、自己を伸ばす実践的な活動を進め、責任感や思いやりなどの社会性を育てる。
- ・学級活動の指導を中心として、「集団の一員として考え、実行できる子供の育成」を図る。

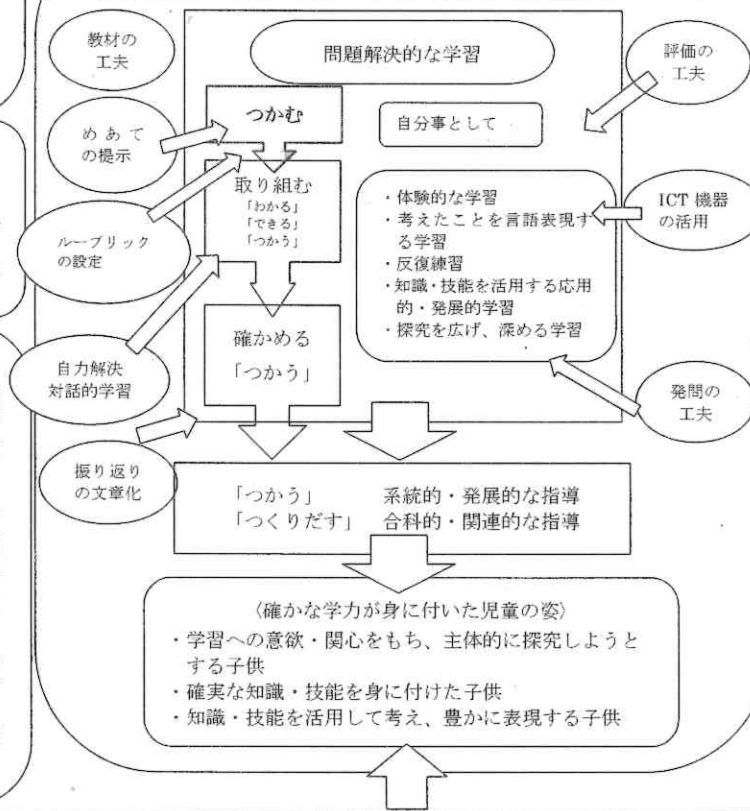
### <生活指導の重点>

- 子供一人ひとりの所属感・存在感・充実感・自己肯定感・共感力を育てる。
- みんなの子供をみんなで育てる生活指導
- ほめて育てる生活指導
- 3つの「あ」を重点として、『まとまって続けると強い』生活指導
- 生活指導職員ミーティングにおける職員の生活指導事項の共通理解
- 月目標を子供が自分事と捉えるためにルーブリックを設定し、掲示する。

### <進路指導の重点>

- ・キャリア・パスポートを年間通して活用し、子供一人ひとりが将来の生活や社会と関連付けながら見通しをもったり、振り返りたりする活動を推進する。
- ・総合的な学習の時間において、「働くこと体験」を行い、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、地域の担い手として地域に役立つ自主的活動の実践、自分の生き方を考える能力の育成を図る。

### 【学力を育成する学習過程—探究開三小メソッド5—】



### 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫・教育環境の整備	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントを意図的・計画的に実施</li> <li>・「探究開三小メソッド5」に基づく授業の推進</li> <li>・学習の振り返りの文章による記述を重視し、子供一人ひとりの学びの自覚・更新・発展・スパイラル化</li> <li>・探究的な学びの継続</li> <li>・算数科における習熟度別指導の工夫</li> <li>・タブレットを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実</li> <li>・英語専科による専門的な指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供一人ひとりが社会の創り手となるように、学校で学んだことを地域に生かす。</li> <li>・子供のよさを発見・褒める意図的・計画的・継続的・組織的な関わり</li> <li>・問題解決的な学習を主体とした学習過程の充実</li> <li>・学校図書館支援員を活用した学校図書館の充実と読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童の学びを豊かにする社会に開かれた教育課程」「児童の学びをつなぎ合わせ、深めるカリキュラム・マネジメント」「『探究的な学び』を視点とした総合的な学習の時間・生活科の指導方法の研究</li> <li>・校内研究における全担任の授業研究の実施</li> <li>・校内OJTの充実と効果還元</li> <li>・教員間における相互授業参観の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間における子供の文章による振り返り</li> <li>・年2回、子供アンケート、教員の自己評価を行い、授業を改善</li> <li>・一人ひとりのよさを見取ることができようような評価の工夫</li> <li>・授業改善を図るための自己点検シートや授業観察シートの活用</li> <li>・学校教育アンケートの項目事前周知と実施</li> <li>・評価計画の作成と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の説明・広報</li> <li>・学校公開(地域・保護者)の推進</li> <li>・生活科、総合的な学習の時間において、地域に働きかけ、活用・交流を図る実践の充実</li> <li>・キャリア・パスポートの活用</li> <li>・合唱団、吹奏楽団の活動の披露</li> <li>・外部評価等を活用した授業改善、教育活動の更新・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の校区別協議会での授業公開による相互理解と情報交換</li> <li>・9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育の確立</li> </ul>